恵那市立大井小学校

学校だよりNo．１　　平成３１年４月　さくら号

大井小だより

夢と希望をもち、
　かしこく元気な子
おもいやりのある子
お互いに学び合う子
いのちを大切にする子

　雪の降らない冬だったなあと思っているうちに、春が来て、子ども達の元気な声が学校に戻ってきました。
　「令和」。
　新しい時代の幕開けに、私たち大井小学校職員一同、心新たに頑張ります。

考える子・行動する子

校長　　児玉　光弘

　はじめまして。今年度からお世話になります。
　私は、常々、子ども達にこのようなことを願っています。

　学校は、子どもの立場に立てば、やらされることが多いものです。
　朝８時までに登校、朝読書、勉強、給食、集団遊び、掃除、集団下校･･･。
　「なぜ、それをやるのか。」
　決まっているからとか、みんなもやっているからとか、叱られるからとか、そういう理由で行動する人は、自分で考えない人です。
　いつも、「どういう趣旨（意味・目的）なのだろう」「自分はこう考える」と、自分なりの意味付け・価値付けができる人は、自分で考える人です。
　また、欲望の赴くままに行動する人も、考えない人です。

　しかし、どんなに考えても、行動しなければ実現しません。
「できるわけがない」「やっても無駄」「やりたくない」…。
　こういう人ばかりだったら、飛行機は空を飛ばなかっただろうし、４回転ジャンプはできなかったでしょう。
　やってみたら、案外簡単にできたとか、面白かったとか、充実感を味わえたとか、そういうことってありますよね。
　反対に、駄目だった。失敗した。努力が無駄になった。そういう経験もあるでしょう。こっちの方が多いかもしれない。
　それでも、行動するから失敗も成功もする。喜びや悲しみがある。
　考えて、行動して、また考えて･･･そうやって人は成長すると思うのです。

　「考える人」「行動する人」に育てたい。

　保護者の皆様、地域の皆様、一年間、よろしくお願いします。

ご存じですか？　就学援助

　恵那市では、経済的理由によりお子さんを就学させることが困難な保護者に、学用品費や給食費など学校で必要な費用の一部を援助しています。
　対象は、①児童扶養手当の支給を受けている世帯、②保護者が離職するなど経済状態が不安定であると認められる世帯、などです。
　援助を受けられる要件、申し込み方法など、詳しくは教育委員会学校教育課または学校にお問い合わせください。